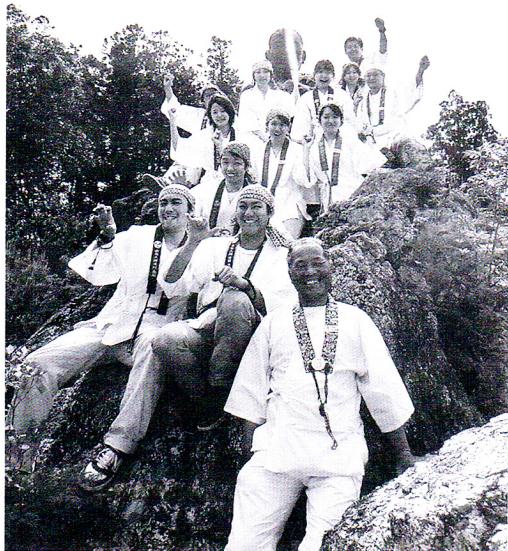


コンビ(株)人事部の金子課長は「今回の歩き遍路研修を通して、新入社員が社会人への第一歩を踏み出すことが出来たと実感している。社員が自分一人の力で歩き通す事で、多くの気付きを得たように思う。感謝の気持ちや素直な心を忘れず、一人前の社会人として成長して欲しい。来年以降も継続して社員研修に歩き遍路を取り入れたい」と研修の手応えを語った。

この度の研修はいつどり着くことが出来た。自分は未熟で一人では何も出来ない。普段の生活でも、多くの支援した。「公認先達・歩き遍路の会」とNPO法人・徳島共生塾一歩会が支援した。

一歩会の新開善一理事長から、ボランティア活動を通して「単にお金のためではなく、社会に貢献するために働く」との講話を聞いた。慈眼寺では穴禪定を体験、大森秀賢名誉住職の法話は「仏門の面から企業人としての在り方、社会で身の処し方、仕事に対する心の持ち方」。

地蔵越え、あづり越えを歩き、小松島付近までの20キロを道に迷いながら各自が歩き通した。勝浦町では和菓子のお接待に感激。元気を取り戻した参加者は、難所の二十番鶴林寺まで歩き通し、最後は大師修行の地「舍心ヶ嶽」で勤行した。参加者の脇坂友里恵さんは「道に迷い、地元の人助けてもらつて、なんとかお寺にたどり着くことが出来た。自分は未熟で一人では何も出来ない。普段の生活でも、多くの支援した。



舍心ヶ嶽に登った新入社員

## 大日寺から太龍寺まで 東京の会 社遍路で新入社員研修

コンビ(株)会社(東京)用品販売・東京)の新入社員など十一名が研修の一環として、月八日から十日まで十三番大日寺から太龍寺を遍路した。昨年秋の一番靈山寺と焼山寺について二回目。

早朝徳島入りした一行は車で大日寺へ移動。作法の説明を受け参拝し、常楽寺に向かって歩き始めた。参加者は携帯電話を持参せず、地図を頼りに独自で行動。目的は、歩き遍路

体験を通して心身を鍛え、競争社会を生き抜く人間力を養成することにある。

遍路中には下座業や本堂での勤行。建治寺では滝行、同宿坊でNPO法人・徳島共生塾一步会の新開善一理事長から、ボランティア活動を通して「単にお金のためではなく、社会に貢献するために働く